

- 問1 北アメリカ大陸の中央平原からグレートプレーンズにかけての地域では、ロシアやカナダと並んで世界の輸出上位を占める小麦の栽培が盛んです。この地域で行われている小麦栽培の背景や特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 広大な土地を活用し、大型機械を導入した企業的な農業が行われている
 2. 都市への出荷を目的として、限られた土地に化学肥料を多用する近郊農業が行われている
 3. 家族労働を中心として、限られた土地から高い収益を上げる集約的な農業が行われている
 4. 熱帯の気候を生かし、安価な労働力を大量に投入するプランテーション農業が行われている
- 問2 インドのベンガルールとアメリカ合衆国のシリコンバレーの間では、情報通信技術（ICT）関連の業務において、ある地理的特徴を活かした「24時間体制」の作業が行われています。この仕組みを成立させている理由として最も適切なものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）
1. インドとアメリカは経度がほぼ同じであるため、通信衛星を介した情報のやり取りに遅延が全く生じないから。
 2. インドとアメリカの間には約12時間の時差があり、一方の夜間に他方が日中となるため、絶え間なく業務を継続できるから。
 3. インドとアメリカは季節が逆であるため、冷房設備などの維持管理コストを年間を通じて相互に補完できるから。
 4. インドとアメリカの標準時が同一に設定されており、リアルタイムでの会議を24時間いつでも行えるから。
- 問3 アメリカ合衆国の産業の変化と地域的特色について述べた文のうち、サンフランシスコ周辺に位置する「シリコンバレー」の説明として最も適切なものを選択してください。（2016年 大阪府公立入試 類似）
1. コンピュータや半導体に関連する企業や研究機関が集中しており、世界の先端技術産業をリードしている。
 2. 五大湖周辺に位置し、かつては鉄鋼業や自動車産業で栄えたが、現在は施設の老朽化が課題となっている。
 3. 広大な土地を利用した企業的農業が盛んであり、バイオテクノロジーを用いた穀物の品種改良が行われている。
 4. 北緯37度以南の温暖な地域に位置し、安価な労働力を背景に航空宇宙産業や石油化学工業が発展している。
- 問4 北アメリカ大陸の気候と自然環境について、西経100度の経線付近を境とした降水量の変化を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）
1. この経線付近は大陸で最も降水量が多く、東西に離れるほど乾燥した気候になる。
 2. 西側では年降水量が1000mmを超える地域が広く分布するが、東側では一部を除き500mm未満となる。
 3. 東側では年降水量が500mmを超える地域が広く分布するが、西側では一部を除き500mm未満となる。
 4. 北極からの寒気の影響により、この経線より北側の地域のみ降水量が極端に少なくなる。
- 問5 アメリカ合衆国の中央部に位置する中央平原からグレートプレーンズにかけての地域では、広大な土地を活用した大規模な農業が行われています。この地域のうち、中央部の南北に伸びる地帯でトウモロコシが、そのさらに北側や南側の地域で小麦が主に栽培されています。このように、それぞれの地域の気候や土壌などの自然条件に最も適した農作物を栽培する農業方式を何といいますか。（2023年 北海道公立入試 類似）
1. 二毛作
 2. 地産地消
 3. モノカルチャー
 4. 適地適作
- 問6 カナダの貿易構造の特徴について、輸出相手国の統計データから読み取れる状況とその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2016年 愛媛県公立入試 類似）
1. 広大な国土の資源を自国で消費するため、特定の国に依存せず、世界各国へ均等に輸出している。
 2. アメリカ合衆国が輸出総額の約7割以上を占めており、地理的な近接性から特定の国への依存度が高い。
 3. 近年はアジア市場の拡大に伴い、中国がアメリカ合衆国を抜いて最大の輸出相手国となっている。
 4. かつての宗主国であるイギリスをはじめとするEU諸国への輸出が、総額の過半数を超えている。
- 問7 北アメリカ大陸のロッキー山脈より東側に広がる地形区分について、西から東へ向かって並んだ名称の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
1. プレーリー、グレートプレーンズ、中央平原
 2. グレートプレーンズ、プレーリー、中央平原
 3. 中央平原、プレーリー、グレートプレーンズ
 4. グレートプレーンズ、中央平原、プレーリー
- 問8 アメリカ合衆国中央部のグレートプレーンズでは、地下に広がるオガララ帯水層から地下水をくみ上げ、大型の散水機を円を描くように回転させる「センターピボット方式」による大規模な農業が行われています。この農業の継続にともない、現在発生している深刻な環境問題として最も適切なものはどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
1. 化学肥料の大量使用による、周辺河川の深刻な水質汚染
 2. 不適切な放牧と森林伐採にともなう、急速な砂漠化の進行
 3. 過剰なくみ上げによる、深刻な地下水位の低下
 4. かんがいによる塩分の集積を原因とした、耕作放棄地の拡大（塩害）
- 問9 フランスの輸出構造において、アメリカやカナダの統計と比較した際に、医薬品や化粧品が特徴的な項目として現れる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
1. 機械工業が未発達であるため、経済を維持するために軽工業製品の輸出を政府が義務付けているため。
 2. 原材料となる原油をすべて国内の北海油田から自給し、安価なコストで大量生産を行っているため。
 3. 研究開発に基づいた高度な化学工業技術を持ち、ブランド価値の高い高付加価値製品を輸出しているため。
 4. 熱帯地方の植民地から輸入した天然原料を、そのまま未加工で再輸出する中継貿易が盛んであるため。
- 問10 アメリカ合衆国のカリフォルニア州、サンフランシスコ近郊に位置し、情報通信技術（ICT）に関連する企業や大学、研究機関が高度に集積している地域の名称を答えなさい。（2024年 奈良県公立入試 類似）
1. サンベルト
 2. ラストベルト
 3. スノーベルト
 4. シリコンバレー
- 問11 アメリカ合衆国の農業において、地下水を利用した「センターピボット方式」が抱えている現代的な課題として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）
1. 手作業による労働力の確保が困難なことによる、生産コストの増大
 2. 地下水の過剰な汲み上げによる、水資源の枯渇や地盤沈下の懸念
 3. 山岳地帯の急斜面を切り開くことによる、土砂崩れのリスク
 4. 多雨による土壌の流出と、それに伴う肥料の流亡
- 問12 アメリカ合衆国のカリフォルニア州などの特定の州において、アジア系の人々の人口比率が高まっている背景を説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
1. 北アメリカ大陸の先住民が、合衆国政府の政策によって特定の州の居留地に集中的に居住することになったため。
 2. アジア諸国との地理的な近接性に加え、IT産業の発達などにより高度な専門知識を持つ人材の流入が増えたため。
 3. かつての綿花栽培の労働力として、アフリカ大陸から強制的に連れてこられた人々の居住地域だった歴史があるため。
 4. メキシコなどのスペイン語圏の国々から、陸続きの国境を越えて安価な労働力が大量に流入したため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 広大な土地を活用し、大型機械を導入した企業の農業が行われている	北アメリカの中央平原における農業は、広大な土地を背景にトラクターやコンバインなどの大型機械を駆使した「企業の穀物農業」が特徴です。これにより、少ない労働力で大量の小麦を生産することが可能となり、国内消費を上回る余剰分を世界中に輸出する「世界の食糧庫」としての役割を果たしています。家族労働を中心とする集約的な農業は主にアジアの稲作地帯などで見られる特徴です。
問2	答え 2 インドとアメリカの間には約12時間の時差があり、一方の夜間に他方が日中となるため、絶え間なく業務を継続できるから。	東経75度付近に位置するインドと、西経120度付近に位置するアメリカ合衆国の間には、約12時間（半日）程度の大きな時差があります。この地理的条件を活かし、アメリカの企業が終業する夕方に、業務内容をインターネットを通じてインドの拠点へ引き継ぐことで、アメリカの夜間でもインドで作業を継続することができます。インドの終業時には再びアメリカへ成果を戻すことで、24時間休むことなくソフトウェア開発などを行うことが可能になっています。
問3	答え 1 コンピュータや半導体に関連する企業や研究機関が集中しており、世界の先端技術産業をリードしている。	シリコンバレーは、従来の重工業中心の産業構造から、知識集約型の先端技術産業（ICT産業）への転換を象徴する地域です。選択肢にある「北緯37度以南」の説明はサンベルト全体の特徴を指しており、五大湖周辺の説明はラストベルト（古くなった工業地帯）を指しています。シリコンバレーはサンベルトの一部に含まれることもありますが、特にICT産業の集積地としての個別の特徴を捉えることが重要です。
問4	答え 3 東側では年降水量が500mmを超える地域が広く分布するが、西側では一部を除き500mm未満となる。	北アメリカ大陸の降水量は、おおむね西経100度を境に大きく変化します。東側は安定した降水量があり農業に適していますが、西側はロッキー山脈などの影響もあり、沿岸の一部を除いて乾燥した気候が広がっています。この「年降水量500mm」という数値は、小麦栽培と放牧の境界線としても重要視されています。
問5	答え 4 適地適作	アメリカ合衆国では、降水量や気温などの自然環境に合わせて、特定の農作物を大規模に栽培する体制が整えられています。トウモロコシが生産される「コーンベルト」や、その南北に広がる「小麦地帯」のように、土地の個性を最大限に活かした効率的な生産を行う仕組みが、広大な国土を持つ国々における農業の特徴となっています。
問6	答え 2 アメリカ合衆国が輸出総額の約7割以上を占めており、地理的な近接性から特定の国への依存度が高い。	カナダの輸出貿易は、地理的に隣接し、かつてNAFTA（北米自由貿易協定）などの経済連携を強めてきたアメリカ合衆国に大きく依存しています。実際の統計でもアメリカ合衆国が輸出全体の約7割から8割を占めることが多く、これはカナダ経済がアメリカ合衆国の景気動向に大きく左右されやすい構造であることを示しています。
問7	答え 2 グレートプレーンズ、プレーリー、中央平原	北アメリカ大陸の中央部は、西側にそびえるロッキー山脈から東の海岸線に向かって、高度を下げながら地形が変化していきます。山脈のすぐ東側には比較的乾燥したグレートプレーンズが広がり、その東側に半乾燥の草原地帯であるプレーリー、さらに東側にはより湿潤で平坦な中央平原が位置しています。この配列は西から東へ向かうにつれて降水量が増加する気候条件とも対応しています。
問8	答え 3 過剰なくみ上げによる、深刻な地下水位の低下	アメリカ合衆国のグレートプレーンズで行われているセンターピボット方式のかんがい農業では、オガララ帯水層という広大な地下水資源に頼っています。しかし、1950年から2015年の間に地下水位がある地点で約70メートルも低下したというデータがあるほど、自然に補充される量を上回るスピードで地下水をくみ上げ続けており、水資源の枯渇が大きな問題となっています。塩害や砂漠化も世界的な環境問題ですが、この地域の地下水利用に直結する課題としては地下水位の低下が最も適切です。
問9	答え 3 研究開発に基づいた高度な化学工業技術を持ち、ブランド価値の高い高付加価値製品を輸出しているため。	フランスは伝統的に化学工業が発展しており、世界的なブランド力を持つ化粧品や、高度な技術が必要な医薬品を数多く輸出しています。これらは単純な資源輸出とは異なり、研究開発やブランド戦略によって付加価値を高めた製品であり、フランスの輸出構造における大きな強みとなっています。
問10	答え 4 シリコンバレー	サンフランシスコ南部のサンタクララバレー帯を指す呼称です。半導体の主原料であるシリコンにちなんで名付けられ、ソフトウェア、インターネット関連サービス、コンピュータなどの先端技術産業（ハイテク産業）が世界で最も発展している地域の一つです。
問11	答え 2 地下水の過剰な汲み上げによる、水資源の枯渇や地盤沈下の懸念	センターピボット方式で利用される地下水は、数万年前の雨水が蓄積した「化石地下水」と呼ばれるものであり、自然に補充されるスピードが非常に遅いのが特徴です。大規模な開発によって、雨などによる自然補給量を上回るペースで汲み上げが続けられているため、地下水位の大幅な低下や将来的な枯渇が深刻な社会問題となっています。
問12	答え 2 アジア諸国との地理的な近接性に加え、IT産業の発達などにより高度な専門知識を持つ人材の流入が増えたため。	カリフォルニア州などの太平洋沿岸部は、地理的な要因からアジア諸国との結びつきが非常に強く、近年ではシリコンバレーなどのIT産業の成長に伴い、技術職や専門職を中心にアジアからの移住者が増加し、社会に大きな影響を与えています。一方、メキシコなどから流入するのはヒスパニック、強制連行の歴史を持つのはアフリカ系の人々であり、それぞれ背景が異なります。